

# いしづち

愛媛労災病院広報誌第24巻第2号

（通巻第108号）

2024年4月5日発行

発行人：院長 木戸健司

## 理念

当院は働く人々のために、そして  
地域の人々のために信頼される  
医療を目指します

## 基本方針

1. インフォームドコンセントの実践
2. 安全かつ良質な医療の提供
3. 勤労者医療の推進

当院では、医の倫理と病院の理念に基づいた医療を積極的に推進して  
いくため、患者さんの基本的な『権利と責務』を、以下のよ  
うに宣言します。

### 【患者さんの権利】

- 1) 人としての尊厳を保ちながら、良質な医療を受ける権利
- 2) 十分な説明と情報提供を受け、自らの意思で治療法の決定  
やセカンドオピニオンを希望する権利
- 3) 個人に関するプライバシーを保護される権利

### 【患者さんの責務】

- 1) 疾病や医療を理解するよう努力する義務
- 2) 医療に積極的に取り組む義務
- 3) 快適な医療環境づくりに協力する義務

## 消化器内科を開設します

事務局長 庄野 利恵



事務局長の庄野です！  
よろしくお願いいたします！

このたび、愛媛労災病院事務局長として  
赴任しました庄野と申します。何卒宜しく  
お願いいたします。

今回初めて四国に訪れることになりまし  
た。以前、愛媛労災病院に勤務していた同  
僚からは、大変住みやすい所だと聞いてま  
いりました。この機会に新居浜市はもちろ  
んのこと、在動中に愛媛県内や四国の沢山  
の場所を訪れてみたいと思っております。

広報誌「いしづち」では、医療のこと、職  
場の紹介、病院から皆様へのお知らせなど  
を3か月ごとに情報を発信しております。今回  
は、当院の新しい診療科をご案内します。

令和6年4月1日から当院では、消化器

内科を開設いたします。また、消化器病セ  
ンターを消化器センターと改めます。

消化器内科医師の増員に伴い消化器セン  
ターの診療体制を充実することができまし  
た。消化器センターでは、消化器内科にお  
いて、月曜日から金曜日まで神田正敏医師  
の診察、検査、治療を行います。

森宏仁消化器センター長（愛媛大学 先進  
消化器内視鏡開発学講座教授）の診療は、月  
曜日、火曜日、水曜日となります。さらに、  
水曜日と木曜日には岡田正也医師（愛媛大学  
先進消化器内視鏡開発学講座助教）による診  
察、検査等も行います。

これまで、検査や治療までお待たせして  
いた時間を短縮し、より迅速な対応が可能と  
なります。これまで以上に積極的に診療を行っ  
てまいりますのでよろしくお願いいたします。

消化器内科を開設します	1
核医学検査 (RI検査) について	2
パノラマ装置の紹介	3

外来紹介	3
急変時の迅速な対応とリスク管理に向けた取り組み	4
第10回 市民公開講座 YouTube配信について	4

## 核医学検査（RI検査）について

放射線科部長 篠原 秀一

一般の方には耳なれない言葉だと思われかもしれませんが、画像診断の一つの手段として核医学検査があります。これは微量の放射線を放出する放射線医薬品を体内に投与し、それが臓器や体内組織に集積する様子を画像化、視覚化することによって画像診断を行う方法です。RIというのはRadioisotope（ラジオアイソトープ）の略で、放射性同位元素のことです。これが微量の放射線を放出します。従来から行われているガンマカメラを使った検査に関しては実はCTやMRIよりも歴史は古く、随分前から行われている検査です。最近ではPETという精度の高い検査もありますが、当院では検査機械も核種もありませんのでこちらの検査は行えません。

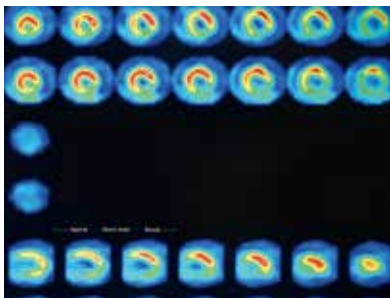
放射線を出す医薬品を使うので、放射線被ばくが気になる場所ですが、一般的な検査では1-15mSvという被ばく線量です。これはCT一回の被ばく線量10-20mSvと比べると同等かそれよりも低い線量で、比較的安全に行われています。投与量も比較的少なく、副作用は極めて稀です。

目的に応じて投与する放射線医薬品、撮影部位等を変えることで求める画像が得られます。

その特徴はCT、MRI画像が身体内の臓器、組織の「形状」を詳細に描出するのに対し、RI検査は臓器、組織の「機能」を描出するというものがあります。以下に主な検査の説明をしていきます。

### 【心筋シンチグラフィー】

身体に負荷をかけたときと、その後の安静にしたときの2回に分けて撮影し、心筋への集積の状態を見て診断します。狭心症や心筋梗塞の有無等が分かります。

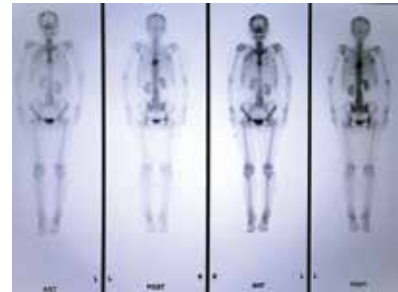


また、放射線医薬品を変えることで、梗塞部位や心アミロイドーシスを診断する事も出来

ます。

### 【骨シンチグラフィー】

骨の代謝が盛んな所に特異的に集積する放射線医薬品を投与し、数時間後に撮影します。全身を一括して撮

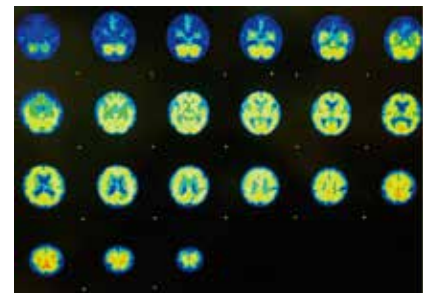


影するので病変がどこに存在するか一目で分かります。骨腫瘍や炎症性骨髄炎の有無等が分かります。

全身を撮影する方法では、他にもガリウムシンチグラフィーという物があり、炎症や発熱の原因を調べることができます。

### 【脳血流シンチグラフィー】

脳の血流を評価します。脳血流の異常の有無を見て、脳血管障害の病態評価、認知症、変性疾患の鑑別等を行います。



脳の検査では血流以外にもDATスキャンという認知症の鑑別診断に用いる放射線医薬品を投与する方法があります。

他にも甲状腺シンチ、肺換気、血流シンチ、副腎皮質、髄質シンチ、腎レノグラム検査等、様々な検査があります。

以上のようにRI検査はいろいろな方法があり、通常のCT、MRIのような画像検査では分からない事柄について知ることができる非常に有用な検査です。このような検査があるということを知っていただければ幸いです。

## パノラマ装置の紹介

中央放射線部 越智伽奈

2023年7月に  
歯科用 X 線診断  
装置を更新しま  
した。パノラマ



撮影を含め、CT  
撮影、顎関節撮影等、多様な撮影が可能になり  
ました。新装置の特徴を3つ紹介致します。

1つ目は、パノラマ撮影に最適な新型セン  
サーの搭載により、以前と比較して、  
画質がクリアになったことです。歯科  
診療の基本となるパノラマ画像が改良  
されています。

2つ目は、詳細診断のための歯科用  
CTの撮影が可能になったことです。パ  
ノラマ撮影、デンタル撮影以上に、よ  
り詳細で精鋭な画像を描出することが  
可能となりました。

3つ目は、省スペース・安心・安全  
な医療提供が可能になったことです。  
コンパクト装置になったことで、立位・

座位・車椅子等、様々な患者さんの撮影を安心  
安全な状態で実施できます。

以上3つの特徴が搭載され、かつ、被ばくも  
大幅減少した為、様々な方々に安心して検査  
提供が出来るようになりました。愛媛労災病  
院は歯科医師や検査が充実しています。お気  
軽に診療や検査へお越しください。お待ちし  
ております。



## 外 来 紹 介

外来師長 荒井恵子

外来は診療科が20科あり、39名のスタッフ  
(保健師3名、助産師3名、看護師30名、外来  
受付3名)が働いています。

病院の中で患者さんが最初に訪れる場所であ  
り、笑顔と優しさを心がけ、気持ちよく診療を  
受けて頂けるように努めています。また療養指  
導に取り組み、安全・安心に地域で生活でき  
るよう、患者さんに寄り添い支援をしています。

昨年度より病棟や地域と連携し、外来から「退  
院前・後訪問」に行っています。実際の生活場  
面を見させて頂くことで、患者さんを支える方  
たちと一緒に気をつけることなどが共有でき、  
外来でその後の生活の様子をお聞きして、継続  
した看護を提供することができています。

また認定看護師（緩和ケア・がん薬物療法看

護）2名は、訪問看護も行い、患者さんの地域  
での生活を支えています。

これからも地域に根差した「かかりつけ病院」  
としての役割が果たせるように活動を続けてい  
きますので、よろしくお願い致します。



## 急変時の迅速な対応とリスク管理に向けた取り組み

中央リハビリテーション部 大久保 勝朗

愛媛労災病院では、早期からのリハビリテーションが標準的なアプローチとなっています。しかしながら、早期からのリハビリには患者さんへの多くのメリットがある一方で、動くこと自体にリスクが伴います。当院のリハビリテーション部は、患者さんの安全を最優先に考え、急変時の迅速な対応とリスク管理に焦点を当てています。

当院のリハビリテーション部では、患者さんの急変時に備え、救急対応に関する勉強会を定期的で開催しています。これにより、万が一何か起きた際でも、スタッフ全員が最善の対応ができるように努めています。

この取り組みは、当院看護部の協力を得て行っており、急変が起きた場合の患者評価、胸骨圧迫、AEDの使用などについて、看護部の専門知識や経験から指導を受けています。これにより看護部との緊密な連携を図ることがで

き、さらにスタッフ全体のスキル向上も期待できます。

勉強会では、緊急時のスキル向上だけでなく、チーム全体の連携訓練も行っています。迅速で効果的な連携が、患者さんの命を守る上で不可欠であり、この点においてもスタッフ一丸となって取り組んでいます。

愛媛労災病院では、今後も患者さんへの質の高いかつ安全なリハビリを提供するために、リハビリテーション部のスキル向上とリスク管理に注力してまいります。急変時の対応においても、絶え間ない学びと改善を通じて、患者さんへの安心感を一層高めてまいります。



### 第10回 愛媛労災病院市民公開講座

「これからの在宅療養を考える  
～住み慣れた家で過ごすための制度を知ろう～」

YouTube配信中!!



広報誌編集メンバー 委員長：福井副院長 委員：篠原放射線科部長、大山看護副部長、土肥看護師長、高橋看護師長補佐、山内看護師長補佐、大成主任薬剤師、清水作業療法士、青野管理栄養士、後藤診療放射線技師、井上臨床検査技師、稲富総務課長、丸山総務課員、藤岡総務課員、河西医事課員